

白山地域におけるコウモリ目相

山本輝正 岐阜県立八百津高等学校
野崎英吉 石川県白山自然保護センター

FAUNA OF CHIROPTERA IN HAKUSAN, ISHIKAWA PREFECTURE

Terumasa YAMAMOTO, *Gifu prefectural Yaotu senior High School.*
Eikichi NOZAKI, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa Prefecture.*

はじめに

石川県内では、これまでに2科14種のコウモリ類が確認されている(佐野・上馬, 1981; 山本, 1990・1998a, b; 前田ら, 1992; 上馬・三原, 1995; 佐野, 2000)。今回、石川県側の白山地域の夏期のコウモリ調査を実施した結果、新たに2種のコウモリが確認されたので報告する。

調査地と調査方法

調査地は、石川郡吉野谷村中宮温泉周辺と同郡白峰村市ノ瀬周辺、同郡尾口村深瀬周辺の3ヶ所である(図1)。中宮温泉周辺では、日没後に石川県白山自然保護センター中宮展示館前の蛇谷の川原でカスミ網による捕獲調査を行った。また、展示館背後の蛇谷自然園路のトンネル内と白山スーパー林道のトンネル内、(株)北陸電力三ツ又発電所冬期用隧道をルーストとして利用しているコウモリ類の調査も行った。市ノ瀬周辺では、日没後にブナ林内でカスミ網による捕獲調査を行った。また、市ノ瀬ビジターセンター周辺で人工構造物をルーストとして利用しているコウモリ類の調査を行った。深瀬周辺では、夕方にブナ林内の樹洞より出巢するコウモリの観察とトンネル内をルーストとして利用しているコウモリ類の調査を行った。

調査は、7月27日~29日と8月13日~15日の6日間実施した。

本調査におけるコウモリ類の捕獲は、環境省の捕獲許可(平成13年10月23日付環中部許第716号 許可番号 第6 183号)の下に行った。捕獲したコ

ウモリはすべて標識(前腕部へのバンディング)した後、放逐した。

分類と学名、標準和名は、阿部ら(1994)と前田(1983, 1996, 1997)に従った。

結果と考察

調査では、2科7種のコウモリ類が確認できた(表1)。表中のメッシュ番号はコウモリ類を確認でき

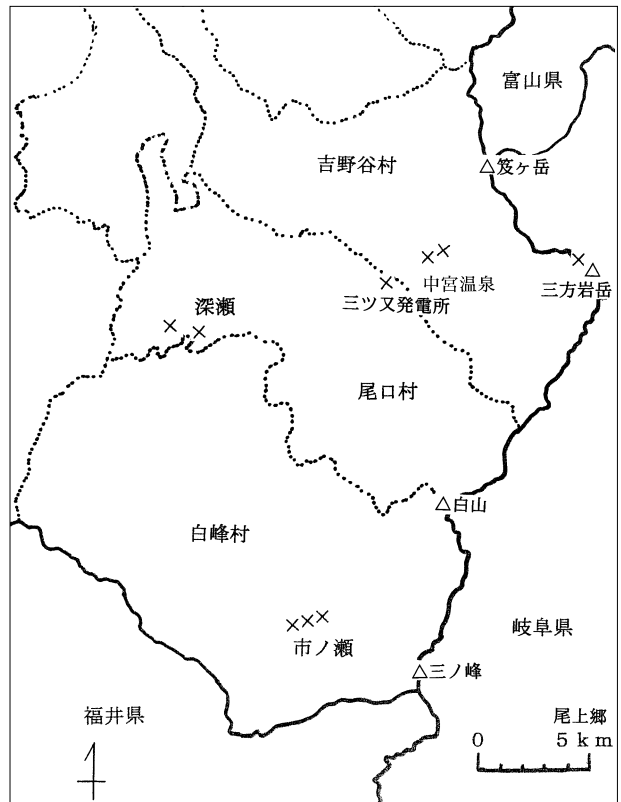


図1 調査地
×は調査実施場所を示す。

表 1 調査場所, 調査日別コウモリ捕獲結果

調査	場所	メッシュ番号	調査日	キクガシラ コウモリ	モリアブラ コウモリ	テング コウモリ	カグヤ コウモリ	モモジロ コウモリ	クロホオヒ ゲコウモリ	ノレン コウモリ
吉野谷村中宮	白山自然保護センター 付近の川原	54363611	7月27日		2 ad(2)	1 ad		9 ad		
		54363611	8月13日							
	蛇谷自然観察園路トンネル	54363611	8月13日	目視2						
	白山スーパー林道 のトンネル	54363604 ~ 54363605	7月27日 8月13日				1 ad			
	三方岩駐車場	54363617	8月13日	目視4						
(尾口村尾添)	三ツ又発電所	54363509	8月14日	死体10 ¹⁾					1 ad	
尾口村深瀬	ブナ林	54362580	7月28日							
	トンネル	54362561	7月28日							
白峰村市ノ瀬	ブナ林	54361535	7月28日							
	市ノ瀬ビジターセン ター周辺	54361536	7月28日	目視1			1 ad			
		54361536	8月14日	目視4			4 ad			
		54361536	8月15日					1 ad, 1 sub		
合 計				22	2	1	6	9	2	1

1 詳しくは、本文参照

2 ad は成体を, sub は亜成体(指骨の骨化が完成していない個体)をあらわす

た地点を示し、環境庁(1997)の3次メッシュコード番号を用いた。

これまで、白山地域石川県側のコウモリ調査は、佐野・上馬(1981)、山本(1990・1998a,b)、上馬・三原(1995)、佐野(2000)がある。これまでの白山地域でのコウモリ調査の結果を含めて、各調査地ごとのコウモリ相についてまとめてみたい。

(1) 中宮温泉周辺((株)北陸電力三ツ又発電所から白山スーパー林道三方岩駐車場)

今回の調査で中宮温泉周辺では、2科6種のコウモリ類、すなわちキクガシラコウモリ *Rhinolophus ferrumequinum*、カグヤコウモリ *Myotis frater*、モモジロコウモリ *Myotis macrodactylus*、ノレンコウモリ *Myotis nattereri*、モリアブラコウモリ *Pipistrellus endoi*、テングコウモリ *Myotis hilgendorfi* が確認された(表1)。

これまで中宮温泉周辺では、2科9種のコウモリ類、すなわちキクガシラコウモリ(佐野・上馬, 1981; 山本, 未発表), コキクガシラコウモリ *Rhinolophus cornutus*(佐野・上馬, 1981; 野崎, 1982), コテングコウモリ *Murina silvatica*(佐野, 私信; 上馬, 私信), テングコウモリ(佐野・上馬, 1981), ヒメホオヒゲコウモリ *Myotis ikonnikovi*(山本, 1998a,b), カグヤコウモリ(山本, 1998a,b), モモジロコウモリ(山本, 1998a,b), ウサギコウモリ *Plecotus auritus*(佐野・上馬, 1981), ユビナガコウモリ *Miniopterus schreibersi*(沢田, 1976) が確認されている。

今回の調査結果と合わせて、中宮温泉周辺から



写真1 ノレンコウモリ

は、2科11種のコウモリ類の生息が確認されたこととなった。

ノレンコウモリ(写真1)とモリアブラコウモリ(写真2)が、新たに確認されたことで、石川県で記録されたコウモリ類は2科16種となった。

また、三方岩駐車場(標高1450m)の人工建築物内で、この標高としては初めてキクガシラコウモリが確認された。

(2) 市ノ瀬周辺(市ノ瀬から六万山)

今回の調査で市ノ瀬周辺では、2科3種のコウモリ類、すなわちキクガシラコウモリ、カグヤコウモリ、クロホオヒゲコウモリ *Myotis pruinus* が確認された(表1)。

これまで市ノ瀬周辺では、2科6種のコウモリ

類,すなわちキクガシラコウモリ(佐野・上馬,1981;山本,1990,1994,1998a,b),クロホオヒゲコウモリ(山本,1990),カグヤコウモリ(山本,1990),ヒメホオヒゲコウモリ(佐野・上馬,1981),テングコウモリ(佐野・上馬,1981),ウサギコウモリ(山本,1990)が確認されている。

今回の調査結果と合わせて,市ノ瀬周辺からは,2科6種のコウモリ類の生息が確認されたこととなった。

(3) 深瀬周辺(深瀬及び鴉ヶ谷)

今回の調査で深瀬周辺では,コウモリ類は確認できなかった。しかし,これまでに深瀬周辺からは,キクガシラコウモリ(山本,1995),ヤマコウモリ *Nyctalus aviator* (山本,1995,未発表;石川県,1999),ユビナガコウモリ(山本,未発表),カグヤコウモリ(山本,1995),モモジロコウモリ(山本,

1995)の2科5種のコウモリ類の生息が確認されている。

(4) コウモリ類の種ごとの結果

今回の調査結果から石川県で確認されたコウモリ類は2科16種となった。一方,近隣県の岐阜県では2科16種,福井県では2科7種(福井県,2002)のコウモリ類が確認されている。近隣県で確認されていて石川県で確認されていないコウモリ類は,チチブコウモリ *Barbastella leucomelas* のみである。今後の調査でこの種も見つかる可能性があるといえよう。

今回初めて確認されたモリアブラコウモリは,岐阜県大野郡庄川村尾上郷地区で捕獲されている(前田,1991)。今回カスミ網により捕獲された2個体は,ともに外部形態より授乳中の雌成獣個体であると考えられた。このことより,モリアブラコウモリは,中宮温泉周辺で繁殖しているものと考えられる。石川県側に生息するモリアブラコウモリの個体数は少ないかもしれないが,白山地域には広く分布している可能性が出て来た。

一方,同じく今回石川県内で初めて捕獲されたノレンコウモリは,岐阜県,福井県の白山地域でも全く捕獲されていない(福井県,2002)。白山地域としては初めての記録である。白山地域でのノレンコウモリの生息状況については,全く不明である。なおこの個体は,(株)北陸電力三ツ又発電所の冬期用隧道内の岩の窟で休息している状態で確認された。

今回,目視であるが広範囲にしかも数多く確認できたキクガシラコウモリは,白山地域に広範囲に分布していると考えられた(山本,1990,1998a,b;佐野,2000)。一方,今回初めて大量の死体が,(株)北陸電力三ツ又発電所の冬期用隧道内で確認された(表1)。すでに骨だけになってしまった死体から,まだ乾燥した肉片や毛が残っている死体までが確認された(写真3)ことから,各個体の死亡時期は異なっているものと考えられた。死亡原因については,不明である。今回のように一度に10頭のコウモリの死体が見つかったことは,繁殖期の繁殖場所以外では初めてである。

モモジロコウモリは,石川県白山自然保護センター中宮展示館前の蛇谷の川原で実施したカスミ網による捕獲で,日没後1時間程経過した頃からの1時間の間に集中して捕獲された。このことは,この周辺にモモジロコウモリが生息している洞穴が人工



写真2 モリアブラコウモリ



写真3

的なそれに類する構造物が存在しているものと考えられる。

カグヤコウモリは、前回の調査の際にも(山本, 1998a, b) 広範囲に多く捕獲された。今回も、捕獲調査を実施した3地域のいずれの場所でも捕獲されており(表1), 白山地域には多く生息するものと考えられた(山本, 1998a, b)。

クロホオヒゲコウモリは、今年生まれの個体が人工構造物内で休息している状態で確認された。これまで、クロホオヒゲコウモリは市ノ瀬でのみ確認されてきたが、継続して確認があり、今回今年生まれの個体が確認されたことから、市ノ瀬周辺では繁殖が(山本, 1994), 継続して行われていると考えられた。

摘 要

(1) 今回確認できたコウモリ類は、キクガシラコウモリ、モリアブラコウモリ、テングコウモリ、カグヤコウモリ、モモジロコウモリ、クロホオヒゲコウモリ、ノレンコウモリの2科7種である。

(2) モリアブラコウモリとノレンコウモリが新たに記録され、石川県で確認されたコウモリ類は2科16種となった。

(3) キクガシラコウモリ10頭の死体が確認された。

謝 辞

カスミ網による捕獲調査の実施にあたり、鳥獣捕獲許可証の申請等でお世話を頂いた金沢大学理学部教授の中村浩二先生、鳥獣捕獲許可証の交付等でお世話を頂いた環境省の関係各位、白山スーパー林道内の調査に際し、ご協力頂いた石川県白山林道管理事務所の関係各位に深く感謝申し上げます。

引用文献

- 阿部 永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎吾・米田政明(1994)日本の哺乳類. 東海大学出版会, 東京, 195pp.
- 福井県(2002)福井県の絶滅のおそれのある野生動物. 福井県福祉環境部自然保護課, 福井, 244pp.
- 石川県(1999)石川県の哺乳類. 石川県環境安全部自然保護課, 石川, 141pp.

- 環境庁(1997)都道府県別メッシュマップ 17石川県. 自然環境研究センター, 東京, 146.
- 前田喜四雄(1983)日本産翼手目(コウモリ類)の分類検索表. 哺乳類科学, 46, 11-20.
- 前田喜四雄(1991)岐阜県下のコウモリ類 15. 尾上郷国 有林(1). 岐阜ふるさとと動物通信, 39, 629.
- 前田喜四雄(1996)日本産翼手目(コウモリ類)の分類レビューと解説. 哺乳類科学, 36, 1-23.
- 前田喜四雄(1997)日本産翼手目(コウモリ類)の和名再検討. 哺乳類科学, 36, 237-256.
- 前田喜四雄・原田正史・竹田伸一・野崎英吉.(1992)船倉島でとれたクビワコウモリ. 石川県白山自然保護センター研究報告, 19, 87-89.
- 野崎英吉(1982)野生動物の交通事故. はくさん, 10(2), 10-11.
- 佐野明・上馬康生(1981)白山地域に生息する翼手類について. 石川県白山自然保護センター研究報告, 7, 23-29.
- 佐野明(2000)石川県における洞穴性コウモリ4種の分布とねぐらの利用状況. 哺乳類科学, 40, 167-173.
- 沢田勇(1976)糸虫相からみた日本産キクガシラコウモリ科コウモリの分布に関する2, 3の知見. 動物学雑誌, 85, 140-155.
- 上馬康生・三原ゆかり(1995)石川県内白山地域で捕獲されたヒナコウモリ. 白山自然保護センター研究報告, 22, 17-18.
- 山本輝正(1990)石川県のコウモリ. 石川の生物,(石川の生物編集委員会編), 石川県高等学校教育研究会生物部会, 137-142.
- 山本輝正(1994)白山石川県側のコウモリ1. 岐阜ふるさとと動物通信, 60, 967, 岐阜県哺乳動物調査研究会.
- 山本輝正(1995)白山石川県側のコウモリ2. 岐阜ふるさとと動物通信, 62, 996, 岐阜県哺乳動物調査研究会.
- 山本輝正(1998a)哺乳類 コウモリ目. 環境庁委託 平成9年度 生態系多様性地域調査(白山地域)報告書, 142-147.
- 山本輝正(1998b)白山地域のコウモリ類. 環境庁委託 平成9年度 生態系多様性地域調査(白山地域)報告書, 227-235.